

2019 **5.1**  
令和元年

# 議会から こんにちは

2月22日の市議会定例会開会前に、本市の魅力ある工芸品をPRすることを目的として、天明釜を使用した茶会を議場において開催しました。茶会は、佐野市茶華道協会の押崎宗幸(はいざきそうこう)会長をはじめ、茶道部11名の皆様にご協力いただき、茶道具やマナーの説明を受けながら、振る舞われたお茶を堪能しました。



さの  
市議会だより

[www.city.sano.lg.jp/gikai/](http://www.city.sano.lg.jp/gikai/)

平成31年2月定例会

- 平成31年度予算案を可決
- 予算審査特別委員会では延べ27人が質疑
- 一般質問に16人が登壇

佐野市議会

検索



▼佐野市議会の様子をライブ中継と録画により映像配信しています。

佐野市議会スマート中継

検索



# 平成31年度の予算案を審議、可決

平成31年度予算案は、「平成31年度佐野市行政経営方針」及び「平成31年度予算編成方針」に基づき編成されました。

市長の予算大綱説明に対する質疑に篠原一世議員(政友みらい)、田所良夫議員(新風)、久保貴洋議員(蒼生会)、若田部治彦議員(公明党議員会)、鶴見義明議員(日本共産党議員団)(以上質疑順)の5人が登壇しました。

また、議員全員で構成される予算審査特別委員会では、一般会計、各特別会計及び水道事業会計の予算案に対し、3月7日、8日、12日、13日の4日間にわたり延べ27人の委員による質疑が行われました。その結果、新年度予算全9議案を可決し、併せて「平成31年度予算審査要望書(3ページに記載)」を取りまとめました。



市長の予算大綱説明

## 予算審査特別委員会 (パソコン・タブレット・スマートフォンで映像をご覧になれます!)



予算審査会場の様子



副委員長  
横井 帝之



委員長  
篠原 一世

## 予算審査特別委員会質疑者一覧

一般会計			
発言 順序	氏 名	発言 順序	氏 名
1	木村 久雄	10	飯田 昌弘
2	鶴見 義明	11	久保 貴洋
3	早川 貴光	12	亀山 春夫
4	菅原 達	13	春山 敏明
5	高橋 功	14	岡村 恵子
6	小倉 健一	15	鈴木 靖宏
7	山菅 直己	16	若田部 治彦
8	田所 良夫	17	金子 保利
9	横田 誠	18	慶野 常夫

各特別会計及び水道事業会計			
発言 順序	氏 名	発言 順序	氏 名
1	若田部 治彦	6	菅原 達
2	金子 保利	7	岡村 恵子
3	鶴見 義明	8	木村 久雄
4	鈴木 靖宏	9	飯田 昌弘
5	春山 敏明		



予算審査会場の様子

# 平成31年度予算審査要望書

## (歳入の確保)

1 本市の財政状況については、平成29年度決算においても健全性を保つことができたが、中長期的には、人口減少・少子高齢化の進行、平成31年度をもって普通交付税の合併算定替の特例措置が終了することなどにより、歳入の減少が見込まれる。

そのような中、ふるさと納税制度の活用は注目するところであるが、未利用財産の早期処分並びに使用料及び手数料の適正な受益者負担の見直しにも取り組まれない。また、予算化された歳入を確保することは無論であるが、年度途中においても、英知を集め新たな税外収入の確保に努められたい。

## (移住・定住等の促進)

2 移住・定住の促進には、情報発信はもとより、佐野市に住んでみたいと思える情報がいかに伝わるかが重要である。新たに採用した移住・定住地域おこし協力隊員に期待するところであるが、それ以外の方法による情報伝達にも創意工夫されたい。

また、交流人口及び定住人口の増加並びに二地域居住の促進に関する事業を推し進めているが、更に本市と継続的なつながりを持つ機会やきっかけを提供して関係人口を創出するとともに、その仕組みを構築されたい。

## (健康寿命の延伸)

3 平成27年市区町村別生命表によると本市の平均寿命は県内最低である。また、特定健康診査受診率やがん検診受診率は低迷しており、近年、健康づくりに取り組んでいる市民の割合も低下している。

そのような中、特定健康診査受診者全員に対し加入保険にかかわらず、心電図と血清クレアチニン検査を無料化するとしている。また、国民健康保険事業においては、被保険者の特定健康診査の個人負担を無償化するとしている。

今後は、これらの事業の周知及び活用並びに新規事業として実施する健康マイレージ事業や健康増進推進事業などにより、健康意識の高揚、受診意欲と受診率の向上、生活習慣の改善、ひいては健康寿命の延伸に努められたい。

## (産業団地開発の推進)

4 本市では、「佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、地元で安心して就労できるように安定した質の良い雇用創出のため、本市への企業立地、地域企業の事業拡大や経営基盤の強化を支援するとしている。

そのような中、産業振興で活力あるまちづくりとして支援メニューが用意されているものの、佐野インター産業団地や佐野田沼インター産業団地は完売となっている状況である。

そこで、産業用地の不足解消や雇用創出のため、現在進めている出流原PA周辺総合物流開発整備推進事業を着実に展開し、本市の高速・広域交通網の利便性を活かした、魅力ある新たな産業団地の開発に努められたい。

## (英語教育の充実)

5 グローバル化が急速に進展する中においては、英語によるコミュニケーション能力は、一部の業種や職種だけでなく、児童生徒の生涯にわたる様々な場面で必要とされる。

佐野日本大学短期大学との英語教育における連携や小学校教員の海外派遣研修により教員の英語指導力を向上させるとともに、ALTとの生きた英語でのコミュニケーションにより英語学習への動機付けや興味・関心を養い、児童生徒の英語力の更なる向上を図られたい。

## (道路冠水対策及び浸水対策)

6 日本各地において、ゲリラ豪雨と呼ばれる局地的大雨や線状降水帯による集中豪雨が多発し、浸水被害、河川氾濫による洪水、土砂災害などが発生している。

本市においても、集中豪雨をはじめとする大雨により、道路冠水の頻発、浸水区域の拡大や新たな区域での浸水の発生が見られる。早急な対応が望まれていることから、道路冠水対策及び浸水対策に関する事業を積極的に推進し、住みやすい快適なまちづくりを進められたい。

## 平成31年度予算の概要(当初予算額)

一般会計	483億3,000万円
特別会計	296億4,620万円
水道事業会計収入	28億7,965万円
”　　支出	36億5,605万円
うち、議会費	3億2,097万円

(1万円未満四捨五入)

議員人件費 ※1	2億1,757万円
職員人件費 ※2	7,542万円
政務活動支援事業費 ※3	720万円
議会運営総務事務費	539万円
会議録作成事業費 ※4	519万円
議会だより発行事業費	341万円
常任委員会活動支援事業費 ※5	286万円
議会映像配信事業費 ※6	161万円
全国市議会議長会参画事業費、外7事業	231万円

(注)各事業費の1万円未満を端数処理しているため、実際の数値と異なることがあります。

- ※1 議員24名分
- ※2 事務局職員9名分
- ※3 議員一人あたり年間30万円交付(議員24名分)
- ※4 会議録作成費、会議録検索システム使用料など
- ※5 常任委員会行政視察旅費
- ※6 定例会の映像配信システム使用料、配信用データ編集加工費など

## ふるさと納税推進事業



税外収入の確保と地域の特産品を通じた市のPRを図るため、ふるさと納税制度による「水と緑と万葉のまちづくり基金」への寄付を募っています。

なお、平成30年11月20日以降に寄付をいただいた市外の方にお礼品の送付を始めました。詳しくは、佐野市ホームページからふるさと納税サイト「さとふる」にアクセスしてご確認をお願いいたします。

佐野市ホームページの  
トップページ右側にある  
「ふるさと納税」を

クリック



クリック



久保 貴洋 議員(蒼生会)  
 質問方式 一問一答  
 本市の防犯対策  
 について

Q 特殊詐欺の具体的な被害防止、撲滅対策について伺いたい。

A 行政経営部長  
 特殊詐欺の入り口となる犯人からの電話をシャットアウトする特殊詐欺撃退器は非常に効果があるものと考え、本市防犯協会では、高齢者世帯を中心に貸し出し期間を1年間とした無償貸出事業を行っています。

また、特殊詐欺撃退器が被害の未然防止に大いに効果があることや、市民の防犯に対する意識を高めることを喫緊の課題と捉えており、撃退器を購入した場合に購入費用の一部を補助金として交付する特殊詐欺対策電話機等購入支援事業を新たに事業化し、平成31年度予算に必要経費を計上し、必要とする世帯に普及していきたいと考えています。

なお、県内において、特殊詐欺撃退器の貸出事業並びに電話機等購入支援事業の両方の事業の実施をしている自治体は本市以外にはありません。

その他の質問  
 ☆第2次佐野市総合計画について(前期基本計画の施策内容)



横井 帝之 議員(新風)  
 質問方式 一問一答  
 佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画について

Q 佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画の後期計画は、平成35年度以降ということですが、現状では赤見地区施設一体型小中一貫校の計画や適正規模や通学路の見直しがうたわれているが、現在の見直しの進捗状況について伺いたい。

A 教育総務部長  
 少子化に伴う児童生徒数の減少を考慮し、通学区域の課題、校舎の老朽化の課題など総合的に考え、その解決には義務教育学校による小中一貫教育による教育の推進も方策の一つであると考えています。これらの考え方を懇談会へ提出して、委員の皆様からご意見をいただき、進めていきたいと考えています。

その他の質問  
 ☆観光立市について  
 ☆子どもたちの安心安全対策について



早川 貴光 議員  
 質問方式 一問一答  
 ICT活用について

Q マイナンバーカードを利用したコンビニ交付が始まると思うが、マイナンバーカードを利用したコンビニ交付と印鑑登録証明書・住民票発行の自動交付機のメリットとデメリットを伺いたい。

A 市民生活部長  
 コンビニ交付は、全国のコンビニエンスストアを利用して証明書等の取得ができるようになります。利用できる時間は、毎日午前6時30分から午後11時までとなり、12月29日から1月3日は交付停止となります。

コンビニ交付を利用するためにはマイナンバーカードが必要で、暗証番号の更新を5年ごとに行う必要があります。

また、マイナンバーカードの更新も10年ごとに必要です。コンビニ交付は、印鑑登録証明書と住民票に加え、所得課税証明書の交付を予定しています。

その他の質問  
 ☆会計年度任用職員制度の導入に向けた取り組みについて



▲マイナンバーカード



菅原 達議員(公明党議員会)  
質問方式 一問一答  
ボランティア活動の支援の充実について

**Q** 市民との協働のまちづくりを推進するためには、市民活動を補償する制度が必要であると考えますが、市の見解を伺いたい。

**A** 行政経営部長

市民活動補償制度は、市民が地域活動や社会福祉活動など公益性のある市民活動中の事故に対応するため、保険料は市が負担し、市民が安心して活動するための補償制度です。協働による自治の推進の必要性を定めた佐野市自治基本条例が施行となり、市民活動の重要性はますます高まる中、市民活動補償制度の整備は必要であると考えています。

平成31年度に各課所管で加入している保険を精査し、補償の対象や内容を検討して制度設計を行い、平成32年度からの実施に向けて取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問  
☆認知症予防の推進について  
☆「手拍子リズムケア」の推奨について  
☆地域包括ケアシステムの推進について



岡村 恵子議員(日本共産党議員団)  
質問方式 一問一答  
出流原PA周辺開発について

**Q** 出流原PA周辺開発事業で、市は現在基本計画を策定しているAゾーンについて、この計画は造成等の整備計画であり、事業内容と時期についてはこれからであると述べている。今後、市が土地購入や造成をするとすれば、莫大な税金を費やすことになる。このAゾーンの整備が、最終的には市民のためになると述べたその根拠は何か。

**A** 総合政策部長

出流原PA周辺総合物流開発整備事業における、Aゾーンの整備により、企業の進出に伴う雇用の創出及び市税の増収などの効果が期待できるものと考えています。今後、面的な整備をし、産業団地として整備をしていく予定です。

その他の質問  
☆国民健康保険税について  
☆民間所有のブロック塀改修について



▲ 出流原PAの周辺構想エリア



鈴木 靖宏議員(蒼生会)  
質問方式 一問一答  
副市長人事について

**Q** 市長として、副市長とどの様に関係を持ち、どの様な成果実績を想定しているのか。また、人口減少転換期もしくは重要事項が解決した時や諸問題が一段落した時は、2人から1人になるのか。

**A** 市長

副市長には、事務執行に責任を持ち、相互に連携し、議論を交わし、組織として調和を保ちながら、施策を強力に推進する原動力になってもらいたいと思っています。そして、体制を効果的に機能させながら、行政の継続性を確実に保ちつつ、第2次総合計画を始め、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけた施策の推進を加速させ、活力と魅力のある佐野市を築いてまいりたいと思っています。元気のある佐野市を目指し、市長として全身全霊を傾注してまいります。

その他の質問  
☆職員の採用及び人事について  
☆子ども子育て支援について



こ こ が 聞 き た い



木村 久雄 議員(公明党議員会)

質問方式  
一問一答

がん対策について

**Q** がん教育の内容について、外部講師を用いたがん教育ガイドラインを参照すると、発達段階を踏まえた指導を行うとある。本市ではどのようながん教育が行われているのか伺いたい。

**A** 教育長

小学校では、保健の学習で生活習慣病とがんの関係について学習しており、中学校では、それに加えて科学的根拠に基づいて、がんの予防と検診の重要性について学んでいます。

また、学校保健委員会や人権教育講演会等を通して、児童生徒や保護者、教職員にがんに対する正しい知識の啓発を行っている学校もあります。内容としては、具体的な予防法や早期発見のための検診の重要性、治療や臓器移植の基礎知識など、児童生徒の発達の段階に合わせて、生命の尊さを実感できるものとなっています。

その他の質問

- ☆急性内斜視対策について
- ☆産後うつ対策について



高橋 功 議員(蒼生会)

質問方式  
一問一答

自転車と共生するまちづくりについて

**Q** サイクルタウンづくりの創生と、今後、市としての官民協働の考えはどのようにお持ちなのか伺いたい。

**A** 観光スポーツ部長

葛生地区の中山間地域は、起伏のある地形を有し、美しい溪流と整備された道路が並走するなど、山岳コースから平坦なコースまでの魅力的なコースが設計できると言われており、首都圏からも近く、多くのサイクリストを誘客できる可能性はあるものと考えます。まずはむらおこし実行委員会が提唱するサイクルタウンづくりの事業内容を十分に把握、理解し、推進する際には地域の皆様との官民協働での事業推進が重要になってくるものと考えます。



亀山 春夫 議員(政友みらい)

質問方式  
一問一答

デマンド型交通について

**Q** デマンド型交通の導入を検討するためには、どのようなことを運行目的とすべきか。また、市民生活の向上、地域の活性化、福祉の向上が期待できるデマンド型交通の導入は、地域住民も待ち望んでいると考えるが、市は今後どのように導入するのか伺いたい。

**A** 市民生活部長

デマンド型交通の運行目的は、バス停が近くになく、これまでの路線型の運行ではバスの利用が困難な方の移動の足を確保するためです。本市では、本年10月にデマンド型交通の運行特性等を把握するため、市営バス野上線の一部の便にデマンド型交通を実証運行として導入する予定です。

その他の質問

- ☆中山間地農業ルネッサンス事業について

※デマンド型交通・・・

デマンド型交通は利用者の予約に応じ、輸送サービスを行うものであり、様々な運行形態があります。

本市では、バス停からだけでなく、自宅やその付近から乗降ができる区域(デマンド型交通対象区域)を定め、その区域から目的地に向かう運行形態を予定しています。



慶野 常夫 議員(政友みらい)

質問方式  
一問一答

学校給食無償化  
について

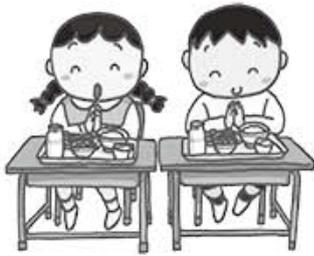
Q 子育て支援、少子化対策、移住や定住の促進、保護者の経済的負担軽減などの効果が考えられ、学校給食無償化に取り組み自治体が出てきている。財源を確保し、すぐにでも学校給食無償化を実施して欲しいと思っているが、現状は難しいと理解している。例えばだが、入学時にお金がかかる小学校1年生と中学校1年生のみ無償化や一部無償化、一部補助といった考えがあるか伺いたい。

A 総合政策部長

一部無償化や一部補助については、子育て支援や保護者の経済的負担の軽減以外にも、地産地消であるとか、あるいは地域産品の学習効果といった観点から実施している市町もあるようです。議員ご提案の内容も踏まえ、先進自治体の事例を検証しながら研究をしていきたいと思えます。

その他の質問

☆歳川河川の環境について



鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)

質問方式  
一問一答

災害時対策について

Q 自主防災会の組織は基本的には町会単位となっていて、地域によっては町会自体の運営が厳しい状況のところもあるのではないかと懸念している。自主防災組織を立ち上げたものの、結果的には人のいない状況で活動が困難になり、活動停止や自然に消滅をといったような状況にもなりかねないが、そのような防災組織の実例はあるのか。

A 行政経営部長

人口減少や高齢化等の要因により、自主防災会が解散したという事例は現在のところ把握していません。なお、平成29年5月に各町会に対して自主防災会に関するアンケート調査を実施した結果、27町会において形骸化していることを確認しました。その町会に対しては、活動再開に向けての働きかけや相談などの支援を行っています。

その他の質問

☆児童虐待について



横田 誠 議員(新風)

質問方式  
一問一答

高齢者、障がい者、困難を抱えた若い世代の見守りについて

Q 多くの自治体で、孤独死を防ぐため、市民の意識啓発も兼ね、緊急通報に関する連絡先などを掲載したリーフレットを作成し配布しているが、本市でも同様の取り組みができないのか。また、リーフレットを配布する場合は対象や範囲をどのように考えるのか。

A 健康医療部長

本市では、高齢者見守りネットワークについてのチラシの作成、広報やホームページ等にて周知を図っているところですが、さらなる周知が必要と考えていますので、連絡先等を記載した、より詳細なリーフレットの作成について検討していきます。高齢者の見守りについては、全市民の方にご協力をいただきたいと考えていますので、リーフレットについても全世帯に配布したいと考えています。

その他の質問

☆企業誘致について





田所 良夫 議員(新風)

質問方式 一問一答  
第2次佐野市総合計画 前期基本計画(助け合い 生きがいを実感できる まちづくり)について

**Q** 平成30年度老人クラブ新入会員者数、これは入会奨励金対象者であるが、クラブ数はどれくらいで、新入会員者数上位ベストファイブはどのようになっているのか。

また、30年度のクラブ数と会員数の増減を伺いたい。

**A** 健康医療部長

新入会員者数は258人、新入会員者があったクラブ数は40クラブで、最も会員数がふえたクラブは、旗川地区で29人、2番目が赤見地区で27人、3番目が犬伏地区で17人、4番目が赤見地区で14人、5番目が佐野地区の1クラブ、田沼地区の2クラブで、それぞれ11人です。

平成30年4月1日現在のクラブ数は112、会員数は4,327人で、平成29年度との比較では、4クラブの減、会員数292人の減となり、加入促進

その他の質問

☆県道山形寺岡線の進捗状況について  
☆第2次佐野市総合計画前期基本計画 歴史・文化を守り育てるまちづくりについて

奨励金事業による平成30年度中の増加分を加えても、会員数は34人の減となっています。



小倉 健一 議員

質問方式 一問一答  
太陽光発電設備の安全管理について

**Q** 今後起こり得る状況として、太陽光発電事業終了後の適正な処分を促す取り組みについてはどのように考えているのか、伺いたい。

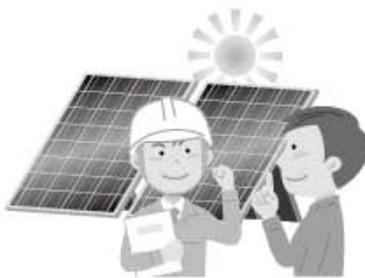
**A** 市民生活部長

本市の条例においては、発電事業終了後の設備の撤去や処分、事業区域の回復について、事業者や土地所有者などの義務を定めています。

発電事業終了後、事業者が設備を放置することによる事故等を防止するため、条例の趣旨について啓発を行っていきたく考えています。また、今後発電事業が終了し、設備の撤去や処分等の不適切な事例が発生した場合は、関係機関と連携し、事業者への働きかけを行っていきたくと考えています。

その他の質問

☆鳥獣害対策に関する安全な環境維持について  
☆栃木デスティネーションキャンペーンについて



飯田 昌弘 議員(蒼生会)

質問方式 一問一答  
安心安全のまちづくりについて

**Q** 危険な通学路の整備状況として、市道1級2号線久保町踏切、佐野ガス前については、鉄道事業者との協議の中で、踏切の拡幅は市道の拡幅整備計画が前提となり、踏切だけの拡幅は難しいと言われていたが、今後の予定を伺いたい。

**A** 都市建設部長

市道通学路整備事業で市道1級2号線を始めとした市内の小中学校より整備要望のあった通学路において、関係者の皆様との点検結果に基づく整備対策案や概算工事費を検討し、登下校の交通安全上の課題解決のための可能な整備方針案を検討しています。その中から、適切な整備対策の概略設計を行い、整備に要する概算事業費等の算出を行っています。

市道1級2号線は、これらの検討結果をもとに整備計画や詳細な道路法線等の計画を行い、鉄道事業者との協議を進めていきます。

その他の質問

☆児童生徒のスマートフォン等の影響について  
☆老人クラブ(老人会・敬老会)の今後について



▲久保町踏切

## 平成31年第1回佐野市議会定例会 審議された議案等と結果

2月定例会は2月22日(金)から3月15日(金)までの22日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は次のとおりです。

議案番号等	件名【内容】	議決結果等	
議員案第1号	佐野市議会会議規則の改正について(詳細は13ページに記載)	原案可決	賛成全員
議員案第2号	佐野市議会委員会条例の改正について(詳細は13ページに記載)	原案可決	賛成全員
報告第1号	市長の専決処分事項報告について【平成30年8月31日に発生した物損事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
報告第2号	市長の専決処分事項報告について【平成30年9月24日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
報告第3号	市長の専決処分事項報告について【平成30年10月30日に発生した物損事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
議案第1号	副市長の選任について【飯塚久氏の任期満了により後任者に同氏を選任】	選任同意	賛成多数
議案第2号	副市長の選任について【落合正氏の任期満了により後任者に加藤栄作氏を選任】	選任同意	賛成多数
議案第3号	教育委員会委員の任命について【栗崎卓二氏の任期満了により後任者に同氏を任命】	任命同意	賛成全員
議案第4号	公平委員会委員の選任について【佐藤孝男氏の任期満了により後任者に同氏を選任】	選任同意	賛成全員
議案第5号	佐野市国民健康保険税条例の改正について【国民健康保険税の減免の特例及び所要の規定を改めるための改正】	原案可決	賛成多数
議案第6号	佐野市住宅新築資金等貸付基金条例の廃止について【住宅新築資金等貸付事業に係る市債の償還が終了するための条例の廃止】	原案可決	賛成全員
議案第7号	佐野市災害弔慰金支給条例の改正について【災害弔慰金の支給等に関する法律等の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第8号	佐野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の改正について【放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成多数
議案第9号	佐野市子どもクラブ条例の改正について【第3犬伏子どもクラブ、第2犬伏東子どもクラブ、第3犬伏東子どもクラブ及び出流原子どもクラブを設置するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第10号	佐野市一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格に関する条例の改正について【廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第11号	佐野市足利佐野都市計画事業西浦・黒袴土地区画整理事業施行条例の廃止について【足利佐野都市計画事業西浦・黒袴土地区画整理事業が完了したための条例の廃止】	原案可決	賛成全員
議案第12号	佐野市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の改正について【水道法施行令等の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第13号	佐野市火災予防条例の改正について【防火対象物の消防用設備等の状況を公表するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第14号	佐野市福祉バス車両の取得について【リフト付大型バスの取得】	原案可決	賛成全員
議案第15号	損害賠償の額の決定及び和解について【平成30年12月10日に発生した物損事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	原案可決	賛成全員
議案第16号	平成30年度佐野市一般会計補正予算(第6号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ357,912千円を減額並びに継続費、繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正】	原案可決	賛成全員

議案番号等	件名【内容】	議決結果等	
議案第17号	平成30年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,489千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第18号	平成30年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第3号)【歳入予算の補正】	原案可決	賛成全員
議案第19号	平成30年度佐野市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ10,000千円を減額、繰越明許費、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第20号	平成30年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ90,000千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第21号	平成30年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ7,938千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第22号	平成30年度佐野市西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業特別会計補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ125千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第23号	平成30年度佐野市水道事業会計補正予算(第2号)【収益的収入の予定額に212千円を追加、収益的支出の予定額から831千円を減額など】	原案可決	賛成全員
議案第24号	平成31年度佐野市一般会計予算【歳入歳出予算の総額を48,330,000千円とする】	原案可決	賛成多数
議案第25号	平成31年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算【歳入歳出予算の総額を12,700,400千円とする】	原案可決	賛成多数
議案第26号	平成31年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)予算【歳入歳出予算の総額を287,000千円とする】	原案可決	賛成全員
議案第27号	平成31年度佐野市公共下水道事業特別会計予算【歳入歳出予算の総額を3,669,900千円とする】	原案可決	賛成全員
議案第28号	平成31年度佐野市農業集落排水事業特別会計予算【歳入歳出予算の総額を183,400千円とする】	原案可決	賛成全員
議案第29号	平成31年度佐野市自家用有償バス事業特別会計予算【歳入歳出予算の総額を172,200千円とする】	原案可決	賛成全員
議案第30号	平成31年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)予算【歳入歳出予算の総額を11,245,100千円とする】	原案可決	賛成多数
議案第31号	平成31年度佐野市後期高齢者医療特別会計予算【歳入歳出予算の総額を1,388,200千円とする】	原案可決	賛成多数
議案第32号	平成31年度佐野市水道事業会計予算【収益的収入の予定額を2,387,438千円、収益的支出の予定額を2,242,561千円、資本的収入の予定額を492,209千円、資本的支出の予定額を1,413,487千円とする】	原案可決	賛成全員
議案第33号	平成30年度佐野市一般会計補正予算(第7号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ53,056千円を追加、繰越明許費の補正】	原案可決	賛成全員
議案第34号	平成31年度佐野市一般会計補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ197,399千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第35号	平成31年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ250千円を追加】	原案可決	賛成全員
請願第1号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願(詳細は13ページに記載)	不採択	賛成少数
陳情第1号	佐野市の飼い主不在の野良猫問題における「どうぶつ基金さくらねこ」導入の必要性に関する陳情(詳細は14ページに記載)	採択	賛成全員
意見書案第1号	自動車関係諸税の抜本改革を求める意見書について(詳細は14ページに記載)	原案可決	賛成全員
決議案第1号	渡良瀬川及び利根川への新たな架橋を含む広域幹線道路の整備促進に関する決議について(詳細は15ページに記載)	原案可決	賛成全員

## 賛否が分かれた議案等

	議決結果	賛成	反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
				慶野常夫	川嶋嘉一	菅原達	木村久雄	横井帝之	早川貴光	小倉健一	金子保利	亀山春夫	小暮博志	本郷淳一	若田部治彦	横田誠	田所良夫	久保貴洋	鈴木靖宏	岡村恵子	鶴見義明	井川克彦	山菅直己	篠原一世	春山敏明	飯田昌弘	高橋功	
<b>議案等</b>																												
議案第1号	選任同意 (賛成多数) (退席1名)	18	4	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	×	×	議長	○	○	○	○	○
議案第2号	選任同意 (賛成多数) (退席1名)	18	4	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	×	×	議長	○	○	○	○	○
議案第5号	原案可決 (賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
議案第8号	原案可決 (賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
議案第24号	原案可決 (賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
議案第25号	原案可決 (賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
議案第30号	原案可決 (賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
議案第31号	原案可決 (賛成多数)	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議長	○	○	○	○	○
請願第1号	不採択 (賛成少数)	2	21	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	議長	×	×	×	×	×	

※○=賛成または採択、×=反対または不採択  
※井川克彦議長は採決に加わりません。

## 令和元年6月定例会日程(案)

令和元年6月定例会の日程は、5月31日(金)の議会運営委員会で内定し、6月7日(金)の本会議で決定します。※日程は変更になることがあります。

5/27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	6/1日(土)	2日(日)
		請願及び陳情の 提出期限(17:00)		13:30 議会運営委員会		
3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)	8日(土)	9日(日)
				10:00 本会議 (議案説明)	休会	休会
10日(月)	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)	16日(日)
休会	10:00 本会議 (議案質疑、討論、 表決)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
17日(月)	18日(火)	19日(水)	20日(木)	21日(金)	22日(土)	23日(日)
9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	10:00 本会議 (委員長報告、質疑、 討論、表決)		

※建設常任委員会および経済文教常任委員会は、付託された議案・請願・陳情の件数が6件以下の場合は午前10時に、7件以上の場合は午前9時に開会となります。

## 議員案の審議結果

### 議員案第1号 佐野市議会会議規則の改正について

#### ▼提出者

川嶋嘉一議員

#### ▼賛成者

田所良夫議員、岡村恵子議員、篠原一世議員、木村久雄議員、久保貴洋議員、慶野常夫議員

#### ▼規則改正の理由

一般質問の方法を一問一答方式に限るため。

#### ▼審議結果

常任委員会への付託を省略し、議員全員の賛成により可決されました。

### 議員案第2号 佐野市議会委員会条例の改正について

#### ▼提出者

川嶋嘉一議員

#### ▼賛成者

田所良夫議員、岡村恵子議員、篠原一世議員、木村久雄議員、久保貴洋議員、慶野常夫議員

#### ▼条例改正の理由

常任委員会及び議会運営委員会の委員の任期を1年から2年に改めるため。

#### ▼審議結果

常任委員会への付託を省略し、議員全員の賛成により可決されました。

## 請願の審議結果

### 請願第1号 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願

#### ▼請願人

新日本婦人の会佐野支部 代表 滝田 洋子

#### ▼紹介議員

鶴見義明議員、岡村恵子議員

#### ▼請願の要旨(一部抜粋。全文は、佐野市議会ホームページでご覧になれます。)

日本国憲法は応能負担原則に則った税制の確立を要請しています。

消費税増税ではなく、税金の集め方、使い方を見直し、大企業や富裕層を優遇する不公平税制をただすべきです。軍事費や不要不急の大型公共工事への歳出を減らし、暮らしや社会保障、地域経済振興優先に税金を使い、内需主導で家計をあたためる経済政策をとるべきです。そうすれば、社会保障制度の拡充も、財政再建の道も開かれます。

私たちは、住民の暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与える消費税増税を中止することを強く求めます。

以上の趣旨から下記事項について請願いたします。

請願事項 2019年10月の消費税率10%への引き上げ中止を求める意見書を政府に送付していただくこと。

#### ▼審議結果

総務常任委員会に付託され、審査の結果、賛成委員がなく不採択となりました。本会議においても、賛成議員が少数により不採択となりました。



◀QRコード

## 陳情の審議結果

### 陳情第1号 佐野市の飼い主不在の野良猫問題における「どうぶつ基金 さくらねこ」導入の必要性に関する陳情

#### ▼陳情人

永島 さくら

#### ▼陳情の要旨(一部抜粋。全文は、佐野市議会ホームページでご覧になれます。)



◀QRコード

「TNR」とは、猫を安全に捕獲し、不妊手術を施し、耳先に不妊手術の印であるVカットを施し、元の場所に戻す方法のことで、近年では、飼い主不在の野良猫や無責任な飼い主による多頭飼育崩壊による過剰な繁殖により、人間と猫が共生していくためには最も有効な方法であり、当たり前の方法となりつつありますが、佐野市においては、多くの飼い主不在の、いわゆる野良猫、多頭飼育崩壊寸前の飼い主、既に多頭飼育が崩壊している飼い主が多数見受けられます。

「TNR」という方法を認識して頂くと同時に虐待、殺傷処分ゼロを目指し、即ち命の尊さを市民一人一人が心に刻む市となれるよう、行政のお力を拝借したく、下記のお願いをさせていただきます。

(1) 飼い主不在の猫(野良猫)への「TNR」実施における公益社団法人どうぶつ基金さくらねこ無料不妊手術への参加

(2) 飼い主不在の猫、飼い主がいても適切な飼育を怠っている(多頭飼育崩壊等)猫への「TNR」の実施

#### ▼審議結果

厚生常任委員会に付託され、審査の結果、委員全員の賛成により採択されました。本会議においても、議員全員の賛成により採択されました。

## 意見書案の審議結果

### 意見書案第1号 自動車関係諸税の抜本改革を求める意見書について

(提出者)慶野常夫議員、(賛成者)篠原一世議員、山菅直己議員、小暮博志議員、川嶋嘉一議員、亀山春夫議員から自動車関係諸税の抜本改革を求める意見書案が提出され、常任委員会への付託を省略し、議員全員の賛成により可決されました。意見書は、佐野市議会として衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣に提出しました。

### 自動車関係諸税の抜本改革を求める意見書

国民の生活必需品である自動車は、公共交通が充実していない地方ほど保有台数も多く家計の大きな負担となっていますが、取得・保有・走行の各段階において複雑な税が課せられています。また、旧道路特定財源の一般財源化による課税目的の喪失や二重課税(ガソリンには、ガソリン税と消費税が課せられています。)といった課題が残されています。そのため、社会保障と税の一体改革に伴い成立した税制抜本改革法第7条に規定された「安定的な財源を確保した上で、地方財政にも配慮しつつ、簡素化、負担の軽減及びグリーン化の観点から、見直しを行う。」及び平成29年度与党税制改正大綱に記された「平成31年度税制改正までに、安定的な財源を確保し、地方財政に影響を与えないよう配慮しつつ、自動車の保有に係る税負担の軽減に関し総合的な検討を行い、必要な措置を講ずる。」に沿って、代替の財源を確保した上で自動車の保有に係る税負担の軽減措置を確実に講ずる必要があります。

については、平成31年度税制改正において、次の事項を強く要望します。

- 1 車体課税を抜本的に見直し、その簡素化及び負担の軽減を図ること。
- 2 燃料課税を抜本的に見直し、その簡素化及び負担の軽減を図ること。
- 3 平成31年4月以降に期限切れを迎える各種軽減措置を新税制度導入まで延長すること。
- 4 地方自治体の財源に影響を与えぬよう適切な措置を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

## 決議案第1号

### 渡良瀬川及び利根川への新たな架橋を含む広域幹線道路の整備促進に関する決議について

(提出者)篠原一世議員、(賛成者)若田部治彦議員、春山敏明議員、飯田昌弘議員、鶴見義明議員から渡良瀬川及び利根川への新たな架橋を含む広域幹線道路の整備促進に関する決議案が提出され、常任委員会への付託を省略し、議員全員の賛成により可決されました。

#### 渡良瀬川及び利根川への新たな架橋を含む 広域幹線道路の整備促進に関する決議

栃木県南部地域に位置する佐野市、群馬県東毛地域に位置する館林市、板倉町、明和町、埼玉県北部地域に位置する羽生市とは、それぞれ渡良瀬川及び利根川に隔てられ、陸路とは別に古来それぞれの地域を結ぶ渡し舟が運行され、人々の交流や物流を支えてきました。

現在、これらの地域の広域幹線道路は、今なおかつての陸路である佐野行田線(渡良瀬大橋)及び国道122号(昭和橋)が供用されるにとどまり、これより下流の架橋としては、渡良瀬川に栃木県栃木市の新開橋及び藤岡大橋が、利根川に埼玉県加須市の埼玉大橋があるのみで、地域の互恵的かつ広域的な発展の阻害要因となっています。

近年では、各地域における商業地区の整備により商圏が拡大し、人の交流がより盛んとなったことに加えて、北関東自動車道や埼玉県内の圏央道全線開通により、商工業の再編、物流の活発化が進み、一層の交通量の増加が見込まれます。

渡良瀬川及び利根川への新橋の建設並びにこれに係る広域的な道路交通網の整備は、栃木県南部地域、群馬県東毛地域、埼玉県北部地域が広域の経済圏として一層の飛躍、発展を遂げる上での起爆剤となるものです。

また、防災面でも架橋の存在は重要な役割を果たします。

昨年7月の西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」は記憶に新しいところではありますが、平成27年9月に目の当たりにした「関東・東北豪雨」での甚大な被害は、地域住民に大きな衝撃と不安をもたらし、記憶にも深く刻まれました。

鬼怒川の堤防決壊により、特に被害の大きかった茨城県常総市では、当時、住民の避難を市内で完結させることを優先するあまり、効率的な避難誘導ができなかったという経緯から、市域に捉われない広域的な避難が有効であるとの教訓が得られました。

特に、三県に跨がるこの地域では、大きな河川がそれぞれの県境に概ね沿う形で流れており、これらの河川の堤防が豪雨等で決壊した場合には、県外への広域的な避難経路を確保するとともに、他県との間に応援・受援態勢を確立する上でも、新橋及び広域幹線道路の整備は不可欠なものとして強く望まれています。

よって、佐野市議会は、渡良瀬川及び利根川への新たな架橋を含む広域幹線道路の整備に向け、引き続き、関係行政機関等に全力で取り組むよう強く求めるものです。

以上、決議します。

# 佐野市の小学生が市議会(一般質問)を傍聴しました。



学校における社会科教育の一環として、市政や議会に対する理解と関心を深めることを目的に、2月27日に閑馬小学校の6年生(9名)が市議会を傍聴しました。27日は一般質問が行われており、市政に関する質問と答弁のやりとりに熱心に耳を傾けていました。

## 傍聴者の声

「佐野市議会を見学して」



佐野市立閑馬小学校6年 川田成美さん  
(学年は傍聴時の学年です)

佐野市議会見学では、市議会議員の方々にお世話になり、貴重な議会の様子を傍聴することができました。

国会の答弁などを普段テレビで見ただけはありましたが、今回のような市議会を間近で見るとは初めてで、とても勉強になりました。これまで市議会は、自分にとってあまり身近なものではなく、難しい話合いをしているイメージがありました。しかし、実際に傍聴してみると、閑馬町に住む私たちのために意見を出し合い、よりよい生活を送ることができるよう話し合っているのを感じ、とても身近に感じました。私たちに与ってはならない大切な場所で、議員の方々は、私たちの代表であり、佐野市の頼れる存在だと感じました。自分も十八歳になったら、選挙で政治に関わろうと思いました。議員の方々に応援しています。

## 議場茶会の様子

2月22日の市議会定例会開会前に、議場で開催された茶会の様子をご覧ください。

QRコード →



## 第4回 議会報告会を開催します。

田沼会場

7月8日 月

午後6時30分～8時  
田沼中央公民館  
(2階視聴覚室)

葛生会場

7月9日 火

午後6時30分～8時  
葛生あくとプラザ  
(小ホール)

佐野会場

7月11日 木

午後6時30分～8時  
佐野市役所  
(7階委員会室)



## 編集後記

編集委員会  
委員長 川嶋 嘉一  
委員 横田 誠  
委員 菅原 達  
委員 亀山 春夫  
委員 久保 貴洋

平成最後の市議会となる2月定例会では、平成31年度予算について、会派代表者による予算大綱質疑、また予算審査特別委員会では、延べ27名による熱心な予算審査が行われました。平成31年度の予算は、一般会計予算と特別会計予算を合わせると779億7,620万円となり、一般会計においては合併後2番目となる大型予算です。第2次総合計画の着実な推進と最終年度を迎えるまち・ひと・しごと創生総合戦略の4つの柱を念頭に予算編成がされました。議会と市民が一体となって市民生活の向上に向け、努めてまいります。

(久保記)

佐野市議会ホームページにおいて、議会の映像や会議録をご覧になれます。 [佐野市議会](#) 議会からこんにちは 2019.5.1 ⑩

佐野市議会事務局  
〒327-8501 佐野市高砂町1番地

電話：0283-20-3036 ファックス：0283-21-4411  
電子メール：gikai@city.sano.lg.jp